

## 平成 27 年度の短期評価について

1998

1998年10月1日

## 第2次健康くまもと21基本計画の短期評価について

### 1. 短期評価の目的

- (1) 目標項目の進捗、成果等の検証、及び社会情勢の変化等に伴う必要な見直しのため、3年ごとに評価を実施するもの。
- (2) 計画策定時、次の4項目は成果指標の基準値が未設定。施策の目標管理に必要であり今般設定するもの。
  - ・「22 ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している市民の割合の増加」
  - ・「28 日常生活における歩数の増加」
  - ・「34 COPDの認知度の向上」
  - ・「35 受動喫煙（家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関）の機会を有する者の割合の減少」

### 2. 短期評価などの方法

- (1) 市民アンケートの実施（一部の成果指標の現状値及び上記4項目の基準値把握のため）
  - ・調査期間 平成27年6月11日～22日
  - ・発送者数 4,200名（乳幼児期から高齢期までのカテゴリ毎に300～600名を無作為抽出）
  - ・回答者数 1,982名（回収率：47.19%） ※8/20現在、当課で把握している速報値
  - ・歩数調査 発送者の20歳以上の者から更に400名を無作為に抽出し歩数計を配布し計測
- (2) 上記アンケートの結果も踏まえた上で「基準値及び目標値」と「直近の現状値」を比較して、次のとおり評価を実施。 ※今回基準値を設定した成果指標を除く。
  - ：目標値に向け順調に推移 又は 概ね改善傾向
  - ×：改善が見られない 又は 悪化傾向 ⇒ 新たな取組み、取り組みの充実の必要あり

### 3. 基準値として設定する項目

項目	成果指標	基準値（アンケート結果）	目標値
健康 高齢者の	22 ロコモティブシンドロームを認知している市民の割合	50.3%	80.0%
身体活動・運動	28 日常生活における歩数の増加	【参考値】 (20～64歳) 男性 8,416歩／女性 8,006歩 (65歳以上) 男性 6,859歩／女性 7,214歩	(20～64歳) 男性 9,000歩／女性 8,500歩 (65歳以上) 男性 7,000歩／女性 6,000歩
喫煙	34 COPDの認知度の向上	58.6%	80.0%
	35 受動喫煙（家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関）の機会を有する者の割合の減少	行政機関 7.8% 医療機関 6.4% 職場 30.2% 家庭 23.3% 飲食店 51.7%	行政機関 0%（H34年度） 医療機関 0%（H34年度） 職場 受動喫煙のない職場の実現（H32年） 家庭 3.0%（H34年度） 飲食店 15.0%（H34年度）

4. 短期評価の概要 ○：目標値に向け順調に推移 又は 概ね改善傾向 ×：改善が見られない 又は 悪化傾向

(1) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

達成度 (11)	項 目
○： 9	【がん】 【糖尿病】 【CKD】
×： 2	【循環器疾患】

(2) 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

今回基準値を設定した項目：1

達成度 (13)	項 目
○： 4	【こころの健康】
×： 8	【次世代の健康】 【働き盛り世代の健康】 【高齢者の健康】

(3) 健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

今回基準値を設定した項目：3

達成度 (21)	項 目
○： 11	【休養】【喫煙】
×： 7	【栄養・食生活】【身体活動・運動】【飲酒】【歯・口腔の健康】

(4) 健康を支え、守るための社会環境の整備

達成度 (4)	項 目
○： 3	【小学校区単位の健康まちづくり】【企業・大学等との健康づくり活動の促進】
×： 1	【健康づくりを支えるボランティアの育成・支援】

5. 短期評価の結果に基づく新たな取り組み及び充実する内容

項目	短期評価が『×』の成果指標	新たな取り組み、取り組みの充実内容
循環器疾患	6「メタリックシンドロームの該当者の割合」が増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メタボリックシンドロームが与える影響等について働き盛り世代を含めた住民に広く啓発する。</li> <li>・校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、循環器疾患等の予防に関する情報提供や特定健診・保健指導の受診啓発を強化する</li> </ul>
	7「特定保健指導を受診する人の割合」が減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的な受診勧奨通知の作成を行う。</li> <li>・特定保健指導の受診勧奨を強化する。</li> </ul>
次世代の健康	15「全出生数中の低出生体重児の割合」が増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産婦人科との連携により、妊娠中における歯科検診受診勧奨（医科・歯科連携）</li> <li>・親子（母子）手帳交付時に早産予防に関する保健指導を強化する。</li> <li>・保育園、子育て支援センター、子育て支援ネットワーク等と連携し、早産予防に関する保健指導を強化する。</li> </ul>
	16「肥満傾向にある子どもの割合」が増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児健診等での生活習慣に関する保健指導の強化及び啓発の充実を図る。</li> <li>・食生活改善推進員等健康に係るボランティアと連携し地域活動において、食育、運動等の啓発を強化する。</li> </ul>
	17「運動やスポーツを習慣的にしている子ども（男児）の割合」が減少。 ※女児は若干増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサークル等において早寝早起き朝ごはんを推奨し、外遊びの大切さについて啓発する。</li> <li>・平成28年度の「(仮称)体力向上プログラム」作成に向け、学識者やスポーツ指導者を活用した研修会を開催し、教員の指導力の向上を図る。</li> </ul>
	18「子どもたちが健やかに成長していると感じる市民の割合」が減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援ネットワーク活動を支援し、地域ぐるみの子育て支援活動をPRする。</li> </ul>
	19「子育てが楽しいと感じる市民の割合」が減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てしやすい環境づくりの強化のため、子育て支援マップ作成や子育て支援ネットワーク活動の支援を強化する</li> </ul>
の健康 働き盛り世代	7「特定保健指導を受診する人の割合」が減少 (再掲：循環器疾患)	(再掲：循環器疾患)
高齢者の健康	20「65歳以上の元気な高齢者の割合」が減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳～74歳の高齢者にアンケート調査を実施。二次予防事業対象者に限らず何らかの機能低下者の把握にも努め、対象者に応じた支援を行う。</li> <li>・地域の関係機関と情報の共有を図り、地域活動における連携強化を図る。</li> <li>・働き盛り世代を中心に働きかけながら、地域の実情に応じて高齢者の健康づくりも視野に入れた活動の実施や評価の視点を導入していく。</li> </ul>
	21「認知機能低下ハイリスク高齢者」の把握率が低下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査を行い、「認知症機能低下ハイリスク高齢者」の把握の向上に努める。</li> <li>・地域包括ケアシステムの構築に向けた動きの中で、認知症高齢者対策についての課題や対策について協議を実施していきたい。</li> </ul>

項目	短期評価が『×』の成果指標	新たな取組み、取り組みの充実内容
栄養・食生活	24 「適正体重を維持している女性の割合」が減少 ※男性は改善傾向。	・食事バランスガイドなどを参考にした食生活ができるように、食育実践講座を広く知ってもらい、利用していただけるようにPRの方法を検討する。
	25 「健全な食生活が実践できる市民の割合」が減少	・食事バランスガイドなどを参考にした食生活ができるように、食育実践講座を広く知ってもらい、利用していただけるようにPRの方法を検討する。
	26 中学生において朝食を1人で食べる子どもの割合が増加	・小学生、中学生などに対し、「食育」について関係機関と連携した効果的な啓発ができないか今後検討を行う。食事の重要性と併せて、喫煙・飲酒の体に与える影響などについても啓発を行いたい。 ・乳幼児期から「共食の大切さ」を継続して伝えていく。
身体活動・運動	29 「1日30分以上の運動（ウォーキング等）週1回程度以上している市民の割合」が減少	・市民の運動習慣の定着化を図るため、運動に関する情報を集約し市民へ向けて情報発信していきたい。 ・女子ハンドボール世界選手権大会やラグビーワールドカップ、また東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツコンベンションの誘致や広報に取り組むことで機運を醸成し市民のスポーツに対する関心を向上させる。 ・「+10」を用いた活動やスマートライフプロジェクト事業等を活用し、市民の運動習慣の推進を図る。
飲酒	30 「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合」が増加	・依存症家族教室において、当事者に対する家族としての適切な対応を学ぶためCRAFTの学習を取り入れる等、内容の充実を図る。 ・健康教室や各種イベント等において、適正飲酒に関する情報提供や普及啓発を行う。
	32 「妊娠中に飲酒する者の割合」が増加	・親子（母子）健康手帳交付時や妊婦健診及び育児相談等の際に、妊娠中や授乳中の飲酒を行わないよう保健指導を強化する
歯・口腔の健康	38 「3歳児でむし歯のない者の割合」が減少	・むし歯予防に関する個別勧奨を実施する。（満1歳児） ・歯科保健推進協議会で課題共有および今後取り組みを検討する。 ・歯科検診の健診結果等について分析を行う。 ・7ヶ月児健診で、むし歯予防に関する啓発に取り組む。 ・育児相談に来所する7か月児以上を対象として歯みがきをはじめとする口腔管理の習慣づけを図る。 ・保育園や民間団体等に協力を仰ぐ等し、歯磨きやむし歯予防についての啓発の強化を図る。
健康づくりをささげるボランティアの育成・支援	45 「過去1年間に地域活動に参加した市民の割合」が減少	・ボランティアの養成と活動支援を強化する。

6. 目標値を見直す成果指標

項目	成果指標	目標値	
CKD	11 新規人工透析者数の減少	平成26年度 200人	平成30年度 200人
高齢者の健康	21 認知機能低下リスク高齢者の把握率の向上	平成26年度 3.0%	平成29年度 5.0%
	23 二次予防事業利用者の見込み	平成26年度 2,788人	平成28年度 2,788人
まちづくり 市民の健康ま なす	43 市民と協働で健康をテーマとしたまちづくりを実施する校区の増加	平成30年度 92校区/92校区	平成30年度 95校区/95校区

※ 「27 20歳代男性、30歳代男性の1週間あたりの朝食の欠食率の減少」の目標年度については、本計画では『平成27年度』と記載していたものの、第2次熊本市食の安全安心・食育推進計画においては、『平成30年度』としていることから、今回の短期評価において記載を改める。

第2次健康くまもと21現状値の推移

(成果指標)

○:目標値に向け順調に推移又は概ね改善傾向

×:改善が見られない又は悪化傾向

基本目標

項目	番号	指標	基準値	現状値	目標値	短期評価	データ
めざすもの (理念)	1	健やかにいきいきと暮らしていると感じる市民の割合	平成24年度	平成26年度	平成30年度	×	第6次総合計画市民アンケート
			58.9%	56.9%	65.0%		
	2	自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合の増加	平成24年度	平成26年度	平成30年度	×	第6次総合計画市民アンケート
			68.9%	65.8%	75.0%		

生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

項目	番号	指標	基準値	現状値	目標値	短期評価	データ
がん	1	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	平成22年度	平成24年度	平成27年度	○	熊本市の保健福祉
			79.8	75.4	70.0		
がん	2	がん検診の受診率の向上	平成23年度	平成27年度	平成30年度	○	健康くまもと21アンケート調査
			(肺がん) 19.9% (胃がん) 28.7% (大腸がん) 27.9% (乳がん) 女性 46.3% (子宮頸がん) 女性 37.3%	(肺がん) 29.0% (胃がん) 39.7% (大腸がん) 35.3% (乳がん) 女性 48.4% (子宮頸がん) 女性 47.4%	50.0% (肺がん、胃がん、大腸がんは当面40.0%)		
循環器	3	脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	平成22年度	平成24年度	平成34年度	○	人口動態統計を元に算出
			脳血管疾患 男性 36.3 女性 22.9 虚血性心疾患 男性 22.1 女性 7.6	脳血管疾患 男性 35.9 女性 21.2 虚血性心疾患 男性 21.6 女性 9.0	脳血管疾患 男性 28.4 女性 20.7 虚血性心疾患 男性 17.0 女性 4.3		
循環器	4	血圧が正常域の者の増加	平成23年度	平成26年度	平成34年度	○	特定健康診査結果
			51.4%	52.8%	増加傾向へ		
循環器	5	脂質異常症(高コレステロール血症)患者の減少 ※LDLコレステロール160mg/dl以上	平成23年度	平成26年度	平成34年度	○	特定健康診査結果
			男性10.3% 女性15.2%	男性9.8% 女性14.7%	男性6.2% 女性8.8%		
循環器	6	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	平成20年度	平成25年度	平成29年度	×	特定健康診査結果
			該当者 14.9% 予備群 13.0%	該当者 15.5% 予備群 12.0%	平成20年度と比べて25%減少		
循環器	7	特定健康診査の受診率・特定保健指導実施率の向上	平成23年度	平成25年度	平成29年度	×	特定健康診査結果
			診査受診率 25.8% 指導実施率 16.8%	診査受診率 26.8% 指導実施率 15.7%	診査受診率 60.0% 指導実施率 60.0%		
糖尿病	8	治療継続者の割合の増加 ※HbA1c6.5%(NGSP値)以上で治療中の者の割合	平成23年度	平成26年度	平成34年度	○	特定健康診査結果
			41.3%	44.2%	増加傾向へ		
糖尿病	9	血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 ※HbA1c8.4%(NGSP値)以上の者の割合	平成23年度	平成26年度	平成34年度	○	特定健康診査結果
			1.3%	1.1%	現状値より0.2%減少		
糖尿病	10	糖尿病有病者の増加の抑制 ※特定健康診査で糖尿病治療薬内服中又はHbA1c6.5%(NGSP値)以上の者の割合	平成23年度	平成26年度	平成34年度	○	特定健康診査結果
			10.2%	6.6%	減小傾向へ		
C K D	11	新規人工透析者数の減少	平成23年度	平成26年度	平成26年度	○	厚生医療データ(障がい保健福祉課資料)
			273人	251人	200人		



社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

項目	番号	指標	基準値	現状値	目標値	短期評価	データ
			平成17年度	平成25年度	平成28年度		
こころの健康	12	自殺者の減少(人口10万人当たり)	19.3	15.9%	15.4	○	人口動態統計
	13	睡眠を十分にとっている市民の割合	平成24年度	平成26年度	平成30年度	○	第6次総合計画市民アンケート
			53.3%	54.0%	68.7%		
14	ストレスをためないよう気分転換を図っている市民の割合	平成24年度	平成26年度	平成30年度	○	第6次総合計画市民アンケート	
次世代の健康	15	全出生数中の低出生体重児の割合の減少	平成22年度	平成24年度	平成34年度	×	人口動態統計
			9.2%	10.2%	減少傾向へ		
	16	肥満傾向にある子どもの割合の減少 ※小学校5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合	平成23年度	平成26年度	平成34年度	×	定期健康診断結果
			男子 3.98% 女子 2.92%	男子 4.57% 女子 2.95%	減少傾向へ		
	17	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加 ※週に3日以上運動習慣のある小学5年生	平成23年度	平成26年度	平成34年度	×	熊本市体力・運動能力・運動習慣等調査
18	子どもたちが健やかに成長していると感じる市民の割合	平成24年度	平成26年度	平成30年度	×	第6次総合計画市民アンケート	
		56.4%	55.8%	65.0%			
19	子育てが楽しいと感じる市民の割合	平成24年度	平成26年度	平成30年度	×	第6次総合計画市民アンケート	
働き盛り世代の健康	再掲7	特定健康診査の受診率・特定保健指導実施率の向上	平成23年度	平成25年度	平成29年度	×	特定健康診査結果
			診査受診率 25.8% 指導実施率 16.8%	診査受診率 26.8% 指導実施率 15.7%	診査受診率 60.0% 指導実施率 60.0%		
高齢者の健康	20	65歳以上の元気な高齢者の割合	平成22年度	平成26年度	平成34年度	×	高齢介護福祉課調査
			80.6%	78.3%	現状維持		
	21	認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上	平成22年度	平成26年度	平成26年度	×	厚生労働省「介護保険事業(地域支援事業)の実施状況に関する調査
			0.40%	0.25%	3.0%		
22	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している市民の割合の増加	平成27年度		平成34年度	/	健康づくりに関する市民アンケート(H27年度実施)	
50.3%		80.0%					
23	二次予防事業利用者の見込み	平成23年度	平成26年度	平成26年度	○	熊本市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(平成24から26年度)	

健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

項目	番号	指標	基準値	現状値	目標値	短期評価	データ
			平成23年度	平成26年度	平成34年度		
栄養・食生活	24	適正体重を維持している者の増加(40歳~60歳代男性・女性の肥満者の割合の減少)	平成23年度	平成26年度	平成34年度	×	特定健康診査結果
			男性 31.7% 女性 17.7%	男性 30.3% 女性 18.8%	男性 28.0% 女性 14.0%		
25	健全な食生活が実践できる市民の割合	平成24年度	平成26年度	平成30年度	×	第6次総合計画市民アンケート	
		54.8%	52.3%	79.0%			

栄養・食生活	26	共食の増加 (食事を1人で食べる子どもの割合の減少)	平成24年度 (朝食) 小学生 16.7% 中学生 24.3% (夕食) 小学生 5.2% 中学生 11.1%	平成27年度 (朝食) 小学生 11.0% 中学生 26.1% (夕食) 小学生 3.3% 中学生 9.4%	平成30年度 減小傾向へ	×	(朝食)中学生のみ増加	熊本市食の安全安心・食育推進計画に関する市民アンケート
	27	20、30代男性の1週間あたりの朝食の欠食率の減少	平成24年度 20歳代 29.4% 30歳代 29.4%	平成27年度 20歳代 23.3% 30歳代 14.7%	平成27年度 20歳代 15.0% 30歳代 15.0%	○		熊本市食の安全安心・食育推進計画に関する市民アンケート
身体活動・運動	28	日常生活における歩数の増加	平成27年度 【参考値】 (20～64歳) 男性 8416歩 女性 8006歩 (65歳以上) 男性 6859歩 女性 7214歩		平成34年度 (20～64歳) 男性 9000歩 女性 8500歩 (65歳以上) 男性 7000歩 女性 6000歩	/		健康づくりに関する市民アンケート(H27年度実施)
	29	1回30分以上の運動(ウォーキング等)を週1回程度以上している市民の割合	平成24年度 52.7%	平成26年度 52.2%	平成30年度 60.0%	×		第6次総合計画市民アンケート
休養	再掲13	睡眠を十分にとっている市民の割合	平成24年度 53.3%	平成26年度 54.0%	平成30年度 68.7%	○		第6次総合計画市民アンケート
	再掲14	ストレスをためないよう気分転換を図っている市民の割合	平成24年度 51.1%	平成26年度 51.3%	平成30年度 65.7%	○		第6次総合計画市民アンケート
飲酒	30	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者 ※男性は清酒換算2合以上、女性は清酒換算1合以上の者の割合の減少	平成23年度 男性 14.0% 女性 8.9%	平成25年度 男性 14.1% 女性 9.0%	平成34年度 男性 11.7% 女性 7.8%	×		特定健康診査(問診項目)
	31	未成年者の飲酒をなくす	平成22年度 ※国参考値 (中学3年生) 男子 10.5% 女子 11.7% (高校3年生) 男子 21.7% 女子 19.9%	平成24年度 ※国参考値 (中学3年生) 男子 9.6% 女子 9.0% (高校3年生) 男子 16.1% 女子 16.6%	平成34年度 0%	○		厚生労働科学研究費による研究班の調査(調査前30日間に1回でも飲酒した者の割合)
	32	妊娠中の飲酒をなくす	平成24年度 3.7%	平成26年度 4.2%	平成34年度 0%	×		親子(母子)健康手帳交付時の問診項目
	33	「たばこを吸わない」と答える市民の数を増やす	平成24年度 70.7%	平成26年度 73.1%	平成30年度 増加傾向	○		第6次総合計画市民アンケート
喫煙	34	COPDの認知度の向上	平成27年度 58.6%		平成34年度 80.0%	/		健康づくりに関する市民アンケート(H27年度実施)
	35	受動喫煙(家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関)の機会を有する者の割合の減少	平成27年度 行政機関 7.8% 医療機関 6.4% 職場 30.2% 家庭 23.3% 飲食店 51.7%		平成32・34年度 ※国参考値 (平成32年度) 職場 受動喫煙のない職場の実現 (平成34年度) 行政機関 0% 医療機関 0% 家庭 3.0% 飲食店 15.0%	/		健康づくりに関する市民アンケート(H28年度実施)
	36	妊娠中の喫煙をなくす	平成23年度 5.5%	平成26年度 4.8%	平成34年度 0%	○		親子(母子)健康手帳交付時の問診項目
	37	未成年者の喫煙をなくす	平成22年度 ※国参考値 (中学1年生) 男子 1.6% 女子 0.9% (高校3年生) 男子 8.6% 女子 3.8%	平成24年度 ※国参考値 (中学1年生) 男子 1.2% 女子 0.8% (高校3年生) 男子 5.6% 女子 2.5%	平成34年度 0%	○		厚生労働科学研究費による研究班の調査

歯・口腔の健康	38	3歳児でむし歯のない者の増加	平成23年度 76.3%	平成26年度 75.0%	平成34年度 90.0%	×	3歳児歯科健康診査
	39	12歳児でむし歯のない者の増加 (中学1年生) ※1人あたりのむし歯本数	平成23年度 1.29本	平成26年度 1.07本	平成34年度 0.7本未満	○	熊本県歯科保健状況調査
	40	20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の減少	平成22年度 38.0%	平成26年度 36.4%	平成34年度 25.0%	○	歯たちの健診
	41	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の増加	平成23年度 63.9%	平成27年度 68.2%	平成34年度 70.0%	○	健康くまもと21市民アンケート
	42	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者(8020達成)の増加	平成23年度 38.3%	平成27年度 54.5%	平成34年度 60.0%	○	健康くまもと21市民アンケート

健康を支え、守るための社会環境の整備

項目	番号	指標	基準値	現状値	目標値	短期評価	データ
小 学 校 区 単 位 の 健 康	43	市民と協働で健康をテーマとしたまちづくりを実施する校区の増加	平成23年度	平成25年度	平成30年度	○	健康まちづくり事業報告
			6校区	55校区/94校区	92校区/92校区		
健 康 づ く り を 支 え る ボ ラ ン テ ィ ア の 育 成 ・ 支 援	44	健康づくり推進に関するボランティア数等の増加	平成24年度 1327人	平成26年度 1,433人	平成30年度 3000人	○	食生活改善推進員及び8020推進員登録数及び各校区健康づくり部会の活動者数等
	45	過去1年間に地域活動に参加した市民の割合(参加したことがある)	平成24年度 46.7%	平成26年度 43.4%	平成30年度 60.0%	×	第6次総合計画市民アンケート
企 業 ・ 大 学 等 の 健 康 づ く り 活 動 の 促 進	46	健康づくりできます店の登録数の増加	平成23年度 109店	平成26年度 129店	平成30年度 200店	○	

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

31	32	33	34	35	36
37	38	39	40	41	42
43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54
55	56	57	58	59	60